神内小だより

紀宝町立神内小学校
令和５年２月１日発行

「すべての子どもが互いに認め合い、安心して夢中に学び合える学校」

１月25日（水）この地域にも大寒波が訪れ大雪警報が発令されるほどの積雪となりました。登校時の安全確保のため、午後からの登校ということで、保護者の皆様や見守りサポーターの方々にはご対応ご協力いただきました。ありがとうございました。午後から登校した子ども達は今までにない積雪に大はしゃぎ。寒さなど感じない笑顔で、雪遊びを楽しみました。運動場や校庭には協力して作った大きな雪だるまがたくさん出来上がりました。大寒といわれるこの季節は、１年の中でも最も寒い時期であるということを意味しています。『大寒』は季節の指標「二十四節気」の中の一つで、今年は１月 20 日から立春２月４日の前日までの期間をいいます。まさにこの日は『大寒』真っ只中の大雪の日となりましたが、その後も極寒が続いています。そんな寒さの中でも、子ども達は、サッカー・鬼ごっこ・縄跳び等、外遊びが大好きです。ただ、先週は雪解けの後、なかなか運動場が乾かず、運動場の隅の雪が残っているところで遊んだり、教室で静かに過ごしたりしていました。『立春』の前日の『節分』２月３日はもうすぐです。朝夕の寒さはまだまだつらい季節なので、そろそろこの寒さも和らいでくれるといいのですが…。「三寒四温」、春の気配を感じられる暖かい日が続いてくれるとありがたいですね。

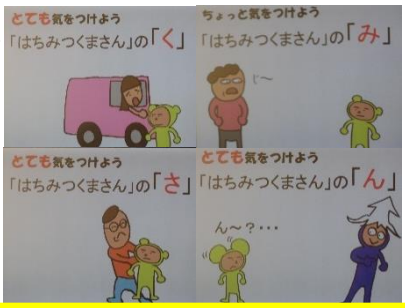
2月 の予定 February

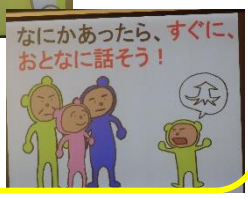
＊2/１（水）：街頭指導、クラブ（4～6年生）
＊2/２（木）：お話会
＊2/３（金）：授業参観・学級懇談会、
　　矢渕中学校入学説明会（６年生）
　　スクールカウンセラー来校（午前）
＊2/７（火）：昔から伝わる遊びを体験しよう（１・２年生）
＊2/８（水）：避難訓練（予定）
＊2/９（木）：ふるさと資料館見学（3年生）
＊2/10（金）：新１年生入学説明会、交流会（5年生と）
＊2/11（土）12（日）：紀南の子ども作品展（木本小講堂）
＊2/14（火）：スクールカウンセラー来校（午後）
＊2/17（金）：公開授業研究会
＊2/21（火）街頭指導
＊2/22（水）委員会（4～6年生）
＊2/24（金）：卒業遠足（６年生）
　　スクールカウンセラー来校（午前）

如月

防犯教室を実施ました！

1/12（木）紀宝警察署の生活安全課の方に来校していただきました。不審者から身を守り、犯罪に巻き込まれないように行動することも『命の守る行動』の一つです。**「いか・の・お・す・し」**は子どもたちもよく知っている合言葉です。保護者・地域のみなさんはご存じでしょうか。今回**『は・ち・み・つ・く・ま・さ・ん』**も教えていただきました。ふだんから「ちょっと気をつけよう！」「とても気をつけよう！」を意識づける合言葉です。下の写真をヒントに各ご家庭でもお子さんと一緒に考えてみてください。防犯教室の中で、子どもたちはこの合言葉（暗号?!）の意味をほとんど答えていました！（は…話しかけてくる人、ち…近づいてくる人、、、。）今回の防犯教室をきっかけとして、お子さんと日常の中で折に触れ話題にしていただき、事前の予防と身を守る行動ができる子どもに育っていってほしいと思います。





警察署見学（3年生）1/19（木）

社会科の学習で紀宝警察署を訪問し、警察の仕事や役割、警察署の施設見学、事件が起こった時の対応や防犯・交通安全について等、人々が安全に生活するための取り組みを学習しました。普段、警察署を訪れることのない子ども達にとって、授業で学んだことを実態目で見て話を聞くことで、再確認したり色々な疑問が明確になったりして、有意義な時間となりました。最後に、パトカーや白バイへの試乗と防護服の試着、指紋の採取等の貴重な体験をさせていただき、大満足な表情で見学を終えました。この見学を通して、安全な生活を送るために自分たちができる事を再認識できたようです。

矢渕中校区人権フォーラム（6 年生参加）1/19（木）

矢渕中校区の4小学校6年生全員と中学2年生の代表、うどの幼稚園の園児が鵜殿小学校に集まり交流会を実施しました。このフォーラムは異校種の世代が一同に集まり、交流を通してお互いを知るきっかけになることや中学校への不安を解消することを目的に毎年行われています。初めに園児の皆さんが『世界中の子どもたちが』の歌を英語と手話を交えて発表してくれました。小学生も中学生も園児のかわいらしさと元気な歌声に笑顔になって、会場が和やかな雰囲気になりました。その後、小中の児童生徒が13のグループになり、すごろくトーキングを行いました。神内小学校の6年生は各グループに1人ずつの配置となるため、初めは緊張している様子がありましたが、中学生が各小学校の子どもたちをうまくまとめ話しやすい雰囲気を作ってくれたので、徐々に緊張もほぐれ、発言する場でもしっかりとみんなに伝えていました。短い時間ではありましたが、他校の6年生とつながり合うきっかけになったようです。中学生から中学校生活について話を聞く機会にもなり、4月からの中学校生活への不安が少しは解消された交流会になりました。

【次頁に続く】

３年生理科・６年生社会科の公開授業研究会を実施しました！

～「すべての子どもが互いに認め合い、安心して夢中に学び合える学校」をめざして～

◆１月23日（月）は、**3年生理科『ものと重さ』**を公開しました。

＜問題１＞体重をはかるとき、はかりの上に両足で立つのと、片足で立つのと、しゃがんで踏ん張ったときとでは、重さはどうなるか。

＜問題2＞ねん土のかたまりを、丸めたもの、柱状にしたもの、ヘビ状にしたものの3種類に形を変えてはかりの上に乗せると、その重さはどうなるか。

を考える課題でした。

予想し、その理由や疑問を出し合いました。その中で、初めの予想と他の人の予想の理由を聞くうちに考えが変わる『意見変更』の場があり、その後、実験をして検証するという流れで授業が進められました。授業を通して、子どもたちの「聴く力」がとても育ってきているのを感じました。子どもたちの学ぶ姿として、**みんなの前で発言する子の説明を自分の意見と比べながら聞いたり、思ったことを話したりすること**が達成できた授業となりました。また、**子どもたちの考えが自分自身の言葉で相手に伝わるように工夫**されていました。その結果たくさんの『意見変更』があったことからも、子どもたちの「聴く力」と「表現力」の素晴らしさを感じた授業でした。

◆１月26日（木）は、**6年生の社会『新しい日本のあゆみ』**を公開しました。

戦後の国内の混乱の様子を知り、そこから新しい国づくりのための制度設計について考え理解を深めていく授業でした。まず、8つの資料が提示され、

＜課題１＞戦後の人々はどのようなくらしをしていたか、資料に考えたことを書き込む中で、グループの中で気づきや疑問をつぶやきながら聴き合う交流が見られました。その後、電子黒板にそれぞれの気づきを全員が書き込み、全体で共有していきました。

続いて、戦後の政治改革に向けての課題として、

＜課題2＞新しい国づくりに向けて、どのような制度をつくったか、次の新たな8つの資料から気づきの書き込みと聴き合いが展開されました。子どもたちにとって歴史学習は、歴史的な認識のギャップがあったり、時代の背景をつかむのが難しかったりして、歴史的事実から離れてしまいがちなところもあります。しかし、**子どもたちが意欲的に資料に書き込み表現している様子**から、**資料を通して対話することで、主体的に歴史的事実を理解していっている**ことを実感できる学びの姿がありました。そして、9人が**安心できる雰囲気でお互いの考えを尊重しながら学習に向かっている姿**が素敵でした。さすが6年生です！

＊１月26日は、町内外の小学校から来校し授業を参観していただいた先生方と本校教職員で、上記2クラスの公開授業の事後研修会を行いました。子どもたちの学ぶ姿から、子どもたちが主体的に学んでいる様子や、子どもたちが夢中になって学ぶ課題設定と授業の進め方等について交流し合いました。教員にとっても、今後の自分たちの授業づくりに活かす良い機会となりました。